



代表取締役社長

松本 光治氏



事業概要

会社名 / 株式会社 ギコウ
所在地 / 福岡県春日市春日公園 7 82
事業内容 / 歯科技工業
設立 / 1968年 7月
資本金 / 2000万円

従業員数 / 112名
年商 / 11億円(2008年 7月)
TEL / 092 591 6519
FAX / 092 501 0773
URL / <http://www.labogiko.com>

私の「経営理念」

私の経営理念は歯科技工を通じて「社会貢献」「社員満足」「会社発展」を実現することです。

我が社は歯科技工を業としており、これは入れ歯、さし歯、矯正装置などをつくる仕事です。歯科技工士の仕事は、歯科医療の一端を担う重要な職業ですが、一般的にあまり処遇がよくなく、残念ながら多くの人に憧れを持たれる職業とは言いがたいのが現状です。したがって、私の経営の根幹にあるのは、歯科技工士の社会的な地位を高め、歯科技工の未来をつくっていききたいという思いです。

歯科技工士の社会的地位を高めるための第一歩は、社員の処遇を上げることであり、そのためには事業の収益力を強化し会社を発展させることが不可欠です。そこで弊社は、新技術の導入、効率的な生産体制の整備、提案型営業の構築を積極的に進めてまいりました。現在新工場建設のための準備も進めており、さらなる生産性の向上を図ってまいります。

また新工場内に、歯科技工業のアカデミーを作り、新しい技術やビジネスモデルを業界全体に普及させる活動を行う予定です。これからも就業条件の向上と、歯科技工業界の発展のために努力を続けていく所存です。

当社の「セールスポイント」

私どものセールスポイントは、技術力に裏付けられた高い品質と生産力、提案型の営業スタイルです。

弊社は九州の歯科技工所の中でトップの規模を誇りますが、ここまで発展したポイントは組織的に事業を行ってきたからだと考えています。歯科技工所は家内工業的な事業者が多いですが、我々は1977年から営業専門部隊をつくり、技術者は開発と製造に特化できる体勢を整えてきました。これにより受注量は増え、効率的な生産が出来るようになりました。

またCAD/CAMなどの最新の

機械を素早く導入し、トップクラスの商品をスピーディに提供してきました。我々は、新素材や新技術も含めて全ての歯科技工商品に対応できる体制を整えています。例えば、歯につけても目立たない透明の歯科矯正装置(クリアアライナー)を取り扱える技工所は当社を含めて国内に2社のみです。私どもは最終的に商品を使ってくる患者様のニーズをいち早く捉え、生産体制を整えるとともに、それを歯科医師に提案し普及する活動も行っています。

これからも口からの健康をテーマとして社会に貢献していきたくと考えております。

推薦者コメント

福岡銀行 春日原支店 大野支店長コメント

「歯科技工の未来を創造する企業となる」ことを経営理念とされている松本社長。松本社長は全ての患者様のニーズに応えるため、常に高い技術研鑽に努められ、歯科医療の発展に貢献されておられます。

今後、最新の歯科矯正装置「クリアアライナー」の本格的な生産など、歯科技工の未来への創造に向けて、益々のご活躍を期待しております。

TOP に聞く! hearing.01

有限会社 コッコファーム



代表取締役社長

松岡 義博氏



事業概要

会社名 / 有限会社 コッコファーム
所在地 / 熊本県菊池市下河原2818
事業内容 / 養鶏及び農産物の生産、販売。食品の加工、販売。人材育成のための教育事業(実農学園)。
設立 / 1995年10月(創業1969年4月)

資本金 / 1,000万円
従業員数 / 118名
年商 / 25億円
TEL / 0968 24 0007
FAX / 0968 24 5056
URL / <http://cocco-farm.co.jp/>

私の「経営理念」

私の経営理念は、社員及び消費者様との信頼関係の中で強小の会社を構築し、農業の振興及び地域との共生を図ることです。

そのため、社員に対しては、職務責任を明確化し忠実な遂行を求める一方で、福利厚生充実等を図り、やりがいと活力ある企業づくりに努めています。

また、消費者の皆様に対しては、お客様の声(クレーム等)を宝であると受け止め、スピーディーに対応することで信頼関係の構築を図っています。

こうした取り組みを通し、ふるさとの自然の恵みを活かした農業振興

を図ることが、地域経済浮揚の一助になるものと信じ、誠実に業務に励んでいます。

その結果、400羽の養鶏からスタートした当社は、厳しい経営環境の中、家族や従業員そして地域の皆様の支えにより、お陰様で創業以来39年間、事業を継続することができました。

今後も、全ての皆様との出会いに感謝すると共に、地域とのパートナーシップを通じて、地域にとって必要とされる企業を目指していく所存です。

当社の「セールスポイント」

当社は、安心・安全、鮮度にこだわった食品を食卓へお届けするとともに、自然の生態系に配慮した循環型の農園を実現しています。

私どもはISO 9001の取得やHACCPの導入などに止まらず、安全性と品質にこだわった飼料の自社開発や、独自の品質管理組織による品質チェックなど、食の「絶対的な安心・安全」を追求しています。この徹底した鮮度・品質管理の下で提供している鶏卵「朝取りたまご」は、当社の人気商品です。

一方、循環型農園の取り組みとして「観光バナナ園」を営んでおり、

バナナの成長に重要なカルシウムを鶏の卵の殻で補い、自社生産の鶏糞を同園の微生物の増殖に役立てています。また、最近では、回収した家庭の廃食油をバイオディーゼル燃料化し、自社で利用する取り組みも行っています。

さらに、経営理念である地域農業の底上げのために、農業体験学校「実農学園」を開講し、農業後継者や新規就農者の養成も行っています。

2010年には、農に関する情報を全国と受発信するマルチメディアセンター(仮称)を設立予定であり、これを核とする循環型テーマパーク(エコタウン構想)の実現に向け邁進いたします。

推薦者コメント

熊本ファミリー銀行 菊池支店
古賀支店長コメント

松岡社長は、菊池の自然の恵みを活かし農業で地域経済に貢献するという信念の下、積極的な営業展開をなさっています。同社の施設は、年間43万人が集まる菊池の人気スポットに成長し、3兄弟で力をあわせて循環型のテーマパーク実現に向け邁進されています。

hearing.02 **TOP** に聞く!

株式会社 丸金佐藤造船鉄工所



代表取締役社長

木庭 吉昭氏



事業概要

会社名 / 株式会社 丸金佐藤造船鉄工所
所在地 / 長崎県長崎市土井首町510番地2
事業内容 / 排ガスボイラ設計製作据付、陸船用ボイラ製作、風力発電機用部品製作、船用煙突設計製作
設立 / 1931年

資本金 / 6,000万円
従業員数 / 204名
年商 / 23億円(2008年3月)
TEL / 095 878 7878
FAX / 095 878 7879
URL / <http://www3.ocn.ne.jp/maru-kin/>

私の「経営理念」

当社は1931年の創業以来、「モノ造り」の長い歴史をもち、「先人の築きあげたものの上に立っていることを自覚し、将来の人の為に、今、全力を尽くす」ことを、経営理念としています。具体的には、長年に亘り育てて頂いたお客様への感謝を常に忘れることなく、技術力を磨いて社会に貢献していきたいと考えています。

当社の主力製品は「船用補助ボイラ」です。これはオイルタンカーで運ばれてきた原油などを荷下ろしする際、ポンプを稼働させるタービンに蒸気を送る装置です。耐圧物として危険に直結しかねないボイラを製

造するには、高度な溶接技術が必要です。

当社は創業以来、常に創造力を発揮して独自性を打ち出し、顧客のニーズに合った製品を提供する会社として事業を続けて参りました。その時代の最新技術を追い求め一流企業に劣らない設備投資を行い、徹底的な技術教育によって納得のいく技術レベルを確保しています。

当社の社員は各人が次世代に繋げるテーマを掲げて、それぞれの個性を生かしながら取り組んでいます。そうした真摯な努力を積み重ねながら、規模は小さくても、世界レベルでキラッと光る企業を目指してまいります。

当社の「セールスポイント」

当社は船用補助ボイラのほか、火力発電用ボイラ部品、船舶用の煙突、油タンク、風力発電機用部品などを製造しています。

当社の強みの一つは73年に工場を現在地に開設し、工場敷地内に船を接岸できる岸壁設備を整備した結果、重量物、大型構造物の製作や搬出入が容易となり、一貫した生産が可能になったことです。

船用補助ボイラについては、経済産業省や厚生労働省の国内規格だけでなく、各国の船級規格に対応できる認定工場として、船用ボイラは累計2,000缶の製作実績を有してい

ます。船用補助ボイラの世界シェアは約50%に及びますが、これらの実績に甘んずることなく、時代の要請を捉えて様々な分野へ独自技術を応用していきたいと考えています。

89年からは三菱重工業との提携によるボイラの設計、製作、販売を開始し、これをきっかけに業務を幅広く展開できるようになりました。

現在、「環境改善」、「省エネルギー」をキーワードに、焼却炉やガスタービンからの排熱を利用するコージェネ分野などにも、積極的に取り組んでいます。蓄積してきた技術をベースに、今後も新たな事業や技術の開拓に取り組んでいきます。

推薦者コメント

親和銀行 長崎営業部 白石営業部長コメント

木庭社長の「技術力を磨いて、社会に貢献する」という経営理念は、社員一人一人に浸透し、世界をリードする船用ボイラ製造技術として結実しています。その技術力を「環境・エネルギー分野」へも投入されている丸金佐藤造船鉄工所様の益々の発展を確信しています。

TOP に聞く! hearing.03